



～きらめき介護塾の取り組み～

(社)きらめき認知症トレーナー協会 理事
プライマリーグループ 代表取締役 梅澤伸嘉

1976年群馬県桐生市に生まれ、21歳の時、祖父が胆管がんで亡くなったことをきっかけに介護業界に転身。現場経験後、2005年からスタッフの充実感、低離職率の介護施設をを展開。現在は、コンサルティング、人材派遣等の事業も行っている。

第4回 法人プランの成功事例

相談窓口設け
住民呼び込む

今回はきらめき介護塾を取り入れた法人の成功事例をご紹介します。

私が代表のプライマリーグループ(群馬県桐生市)は介護施設の運営・やコンサルティング、派遣事業などを行っています。自社ビルの1階には地域の方が介護について気軽に相談できる「かいこの窓口」を設けています。かいこの窓口の重要な取り組みが「地域向けの認知症講座」です。

プライマリーグループでは法人プランでの認知症トレーナー講座を国内で初めて導入しました。選ばれた社員8名が約4カ月間に渡り、認知症トレーナー養成講座を受講し、全員が認知症トレーナーとして活動しています。認知症トレーナーのメンバーが中心となって行っている活動の1つは、先ほどご紹介した「かいこの窓口」事業に繋がる地域向けの「認知症講座」です。

自社のセミナールームで月1回「認知症講座」を開講しており、10名前後の地域の方々が参加しています。来客型に加えて出張型も積極的に行っており、「高齢者の方々が集まるサロン」や「一人暮らしの方々

ブランディングの武器に

が多い団地内、「地域包括支援センターの活動協力」など様々な形で、開講しています。昨年は300名以上の地域の方々が対象に実施し、認知症に関する正しい知識を理解いただく機会を設けました。

かいこの窓口における認知症講座の開催はボランティア活動ではなく、スタッフの貴重な業務時間を使って実施していることも大きな特徴の一つです。それが結果的に自社ブランディングに繋がっています。認知症講座の最後には、困った時に連絡できるよう、電話番号などを記載した「かいこの窓口カード」を配布しています。

また、認知症のことを伝えていく中で、地域の一般の方々に「仕事」として介護職を選択してもらえないよう、その魅力も伝えていきます。そして介護職員に興味を持った方には、プライマリーグループで開講している「ヒギナーズ研修」や「介護職員初任者研修」をご案内し、介護労働人口を増やすための活動を行っています。グループ内には人材派遣・職業紹介を行う法人もあるため、介護業界での就職活動へのバックアップも行うことができます。

始まったばかりのこの活動を継続していくことで、「介護のことで困ったり、介護の仕事に興味を持ったりしたら、まずは『かいこの窓口』へ」という流れを

地域内で浸透させていくことを目指しています。「かいこの窓口」事業成功のための欠かせない武器が、きらめき介護塾の「認知症講座」のコンテンツと認知症トレーナーの活動です。この取り組みをきっかけに地域の方々と繋がる場を創ることができます。誰もが避けては通れない「認知症」に関する情報を提供する社会貢献を通じて、地域における自社ブランディングを同時に行っています。上記の内容のほか、認知症トレーナーの法人プランの開催は、職員のキャリアアップという観点でも効果的です。さらには自費事業の一環として収益にもつながります。